

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-107	高等学校	地理歴史科	世界史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	世探 701	世界史探究		

1. 編修の基本方針

1. 歴史の変化を広い視野で捉えさせ、主体的な歴史学習が展開できる教科書

- 本文記述では、歴史的事象の背景や事象同士のつながりなどを丁寧に説明することで、各時代の特色や歴史の変遷を大きな枠組みで捉えられるように心がけた。
- 各節の冒頭に学習課題の事例を提示することで、問題意識を持って学習に取り組めるようにした。また、各所に学習内容を活用してさらに深い考察へと導くための「深める」を設け、学習者が自主的に学習を広げられるようにした。
- ある時代における世界全体の動きを概観した特設ページ「世紀の世界」や、学習内容に興味・関心を深めるためのコラムを各所に設け、歴史学習をいっそう広げたり深めたりできるようにした。

2. 歴史的な見方や考え方を働かせ、資料を活用して考察・表現する力を培う教科書

- 本文記述を補完するための注記や資料を的確に配置しており、それぞれ端的でわかりやすい説明を付した。また、掲載資料については、読み取りのための視点「よみとる」を適宜提示しており、学習内容を追究するために効果的に活用できるよう配慮した。
- 特設ページ「資料で深める歴史の世界」では、資料をもとに各時代の特徴的な事象を読み取るための具体的な問いかけを設置しており、資料を用いて物事を考察していく力をさまざまな場面で活用できるようにした。
- 第1編から第3編の冒頭では、各時代の特色を概観するために多種多様な資料を提示しており、歴史学習における資料の重要性を学習者が認識できるようにした。

3. 歴史学習を通して、現代社会の諸課題に主体的に関与する自覚と資質を養う教科書

- 第4編「グローバル化と地球的課題」では、地球世界の抱える諸課題について多様な資料をもとに考察を深めていく構成をとっており、学習者が歴史の当事者としての意識を持ち、よりよい社会の実現に向けた課題の克服に向き合う意欲を育めるようにした。
- 各所に設置したコラムでは、現代社会の諸事象につながる内容を適宜取り上げており、各時代から現在へとつながる人々の営みを理解し、学習者自身が社会の一員としてこれからの社会形成に主体的に関与する姿勢を養えるようにした。

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
序章 —— 世界史へのまなざし 1 茶と世界史 2 地球と人類の誕生	幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。	全体
■第1編 諸地域の歴史的特質 諸地域の歴史的特質への問い 第1章 古代文明の出現 1 農業と気候	学習課題の事例を各節の冒頭に提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。	8~104ページ

2 古代オリエントとエーゲ海地域	身の回りにあるものの歴史的背景について、主体的に考えるとともに、自分の考えや意見を交換したりする活動へと学習が展開するように配慮した(第2号)。	8～10, 23～25, 47, 84ページなど
3 南アジアの古代文明		
4 東アジアにめばえた文明	人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。	16～104ページ
第2章 西アジアと地中海周辺		
1 古代オリエントの統一	各地で形成された社会と自然環境の関係を随所で取り上げており、自然環境とともに築かれてきた人類の歴史を理解し、環境を保全することの重要性を理解できるようにした(第4号)。	18～19, 22～34, 65, 73～74, 78～79, 100～104ページなど
2 古代ギリシアとヘレニズム世界		
3 ローマ帝国と地中海世界	各所に設置した「日本と関連するコラム」などで、世界の歴史の中での日本の動向について取り上げ、我が国の伝統や文化が世界の歴史の中で形成されてきたことを認識できるようにした(第5号)。	14, 48, 55, 72, 77, 92～95ページなど
4 古代末期の社会と地中海世界の解体		
5 地中海世界とアジア	人々のたゆみない営みによって、各地でさまざまな社会や文化が発生していったことなどを取り上げ、伝統や文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにした(第5号)。	16～34, 42～43, 48～49, 55, 69, 90～91, 101～104ページなど
6 イスラーム世界の成立		
7 中世初期の東西ヨーロッパ	幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。	全体
第3章 南アジア		
1 南アジアにおける国家形成	学習課題の事例を各節の冒頭に提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。	106～224ページ
2 インド世界の形成		
第4章 東南アジア	各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、学習者の勤労観を育むようにした(第2号)。	107, 120, 128, 133～134, 151, 171, 214ページなど
1 海の道の形成と東南アジア		
2 東南アジア諸国家の再編成	人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。	全体
第5章 東アジアと中央ユーラシア		
1 古代帝国の誕生	人々が自然条件に適応しながら諸地域間での交流を深めていったことを丁寧に記述し、人類の歴史における自然環境の重要性を認識できるようにした(第4号)。	108, 118, 128, 137, 160～171ページなど
2 中国の分裂と多様化		
3 隋唐帝国と東アジア	各所に設置した「日本と関連するコラム」などで、世界の歴史の中での日本の動向について取り上げ、我が国の伝統や文化が世界の歴史の中で形成されてきたことを認識できるようにした(第5号)。	159, 171, 174, 177～178, 184～185ページなど
4 草原地帯のトルコ化とイスラーム化		
第6章 アフリカ, オセアニア, 古アメリカ	幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。	全体
1 アフリカ		
2 オセアニア	学習課題の事例を各節の冒頭に提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。	106～224ページ
3 古アメリカ		
第2編 諸地域の交流と再編	各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、学習者の勤労観を育むようにした(第2号)。	107, 120, 128, 133～134, 151, 171, 214ページなど
諸地域の交流・再編への問い		
第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄	人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。	全体
1 イスラーム世界の発展		
2 イスラーム文明	人々が自然条件に適応しながら諸地域間での交流を深めていったことを丁寧に記述し、人類の歴史における自然環境の重要性を認識できるようにした(第4号)。	108, 118, 128, 137, 160～171ページなど
第8章 中世ヨーロッパ		
1 中世ヨーロッパ社会の展開	各所に設置した「日本と関連するコラム」などで、世界の歴史の中での日本の動向について取り上げ、我が国の伝統や文化が世界の歴史の中で形成されてきたことを認識できるようにした(第5号)。	159, 171, 174, 177～178, 184～185ページなど
2 中世西ヨーロッパ社会の成熟		
3 中世西ヨーロッパの文化	幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。	全体
4 中世ヨーロッパ社会の再編		
5 ルネサンス	学習課題の事例を各節の冒頭に提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。	106～224ページ
第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国		
1 唐の崩壊後の東アジア	人々が自然条件に適応しながら諸地域間での交流を深めていったことを丁寧に記述し、人類の歴史における自然環境の重要性を認識できるようにした(第4号)。	108, 118, 128, 137, 160～171ページなど
2 宋代の新展開		
3 モンゴル帝国	各所に設置した「日本と関連するコラム」などで、世界の歴史の中での日本の動向について取り上げ、我が国の伝統や文化が世界の歴史の中で形成されてきたことを認識できるようにした(第5号)。	159, 171, 174, 177～178, 184～185ページなど
4 元の成立		
第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア	幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。	全体
1 イスラームのインドとインド洋海域への浸透		
2 海と陸の結合——東南アジア世界の発展	学習課題の事例を各節の冒頭に提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。	106～224ページ
第11章 大交易時代と世界の一体化		
1 アジア交易圏の再編と活況	各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、学習者の勤労観を育むようにした(第2号)。	107, 120, 128, 133～134, 151, 171, 214ページなど
2 ポルトガルのアジア進出		
3 明と日本・朝鮮の動向	人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。	全体
4 一体化に向かう世界		
5 大交易時代の世界	人々が自然条件に適応しながら諸地域間での交流を深めていったことを丁寧に記述し、人類の歴史における自然環境の重要性を認識できるようにした(第4号)。	108, 118, 128, 137, 160～171ページなど
第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄		
1 中央アジアと西アジアの繁栄	各所に設置した「日本と関連するコラム」などで、世界の歴史の中での日本の動向について取り上げ、我が国の伝統や文化が世界の歴史の中で形成されてきたことを認識できるようにした(第5号)。	159, 171, 174, 177～178, 184～185ページなど

<p>2 インドの大国 —— ムガル帝国</p> <p>3 清と東アジア</p> <p>第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大</p> <p>1 主権国家群の形成と宗教改革</p> <p>2 オランダの繁栄と英仏の国家形成</p> <p>3 商業覇権と植民地建設</p> <p>4 啓蒙専制国家の発展</p> <p>5 近世ヨーロッパの社会と文化</p>	<p>各地域間での交流が進み、それによって新たな社会や文化が進展していったことなどを取り上げ、伝統や文化への理解を深めるとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにした(第5号)。</p>	<p>106 ~ 111 , 118 ~ 121 , 135 ~ 136 , 141 ~ 143 , 152 ~ 153 , 163 , 174 ~ 175 , 190 ~ 191 , 221~224ページなど</p>
<p>■第3編 一体化していく世界</p> <p>一体化していく世界への問い</p> <p>第14章 国民国家と近代社会の形成</p> <p>1 産業革命と工業化</p> <p>2 アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立</p> <p>3 フランス革命とウィーン体制</p> <p>4 自由主義の台頭と新しい革命の波</p> <p>5 19世紀後半のヨーロッパ諸国</p> <p>6 南北アメリカの発展</p> <p>第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容</p> <p>1 産業資本主義の世界への波及と欧米社会</p> <p>2 西アジアの危機と改革のはじまり</p> <p>3 南アジア・東南アジアの植民地化</p> <p>4 清における開発の限界と二つのアヘン戦争</p> <p>第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行</p> <p>1 列強の覇権争い</p> <p>2 西アジア・中央アジアの変革</p> <p>3 南アジア・東南アジアの民族運動</p> <p>4 清の体制転換と近代国家建設の模索</p> <p>第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容</p> <p>1 第一次世界大戦</p> <p>2 ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編</p> <p>3 大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ</p> <p>4 アジア・アフリカでの国家形成の動き</p> <p>第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦</p> <p>1 世界恐慌と政治経済の変容</p> <p>2 国際協調体制の動揺</p> <p>3 第二次世界大戦の開戦と展開</p> <p>4 戦後秩序構想と冷戦の形成</p> <p>第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア</p> <p>1 アジア・太平洋戦争と日本の敗戦</p> <p>2 帝国の解体と分断国家の形成</p> <p>3 アジア諸国の独立と脱植民地化</p> <p>4 朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」</p>	<p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p> <p>学習課題の事例を各節の冒頭に提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。</p> <p>各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、学習者の勤労観を育むようにした(第2号)。</p> <p>人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p> <p>産業革命などによる社会の変容にともなう環境問題や衛生問題が発生したことについてふれ、環境の保全に寄与する態度を養うようにした(第4号)。</p> <p>各所に設置した「日本と関連するコラム」などで、世界の歴史の中での日本の動向について取り上げ、我が国の伝統や文化が世界の歴史の中で形成されてきたことを認識できるようにした(第5号)。</p> <p>世界の一体化が進む中で、現代社会にもつながるさまざまな文化が発生したことなどを取り上げ、伝統や文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにした(第5号)。</p>	<p>全体</p> <p>226~348ページ</p> <p>226 ~ 230 , 233 ~ 234 , 261 ~ 262 , 306ページなど</p> <p>全体</p> <p>244 , 246 , 270 , 277 , 285ページなど</p> <p>226 ~ 229 , 257 , 280 ~ 281 , 286 , 288 ~ 297 , 302 , 306 , 315 ~ 317 , 324 ~ 325 , 328 ~ 330 , 337 ~ 342 , 345~348ページなど</p> <p>228 ~ 231 , 248 , 258 , 261 ~ 262 , 276 ~ 278 , 308 ~ 309 , 316 , 334ページなど</p>
<p>■第4編 グローバル化と地球的課題</p> <p>第20章 冷戦の世界化と国際制度</p> <p>1 冷戦と政治・経済秩序</p> <p>2 アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力</p> <p>3 平和共存と社会主義圏の多極化</p> <p>第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化</p>	<p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p> <p>学習課題の事例を各節の冒頭に提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。</p>	<p>全体</p> <p>350~389ページ</p>

<p>1 アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容</p> <p>2 冷戦の変容と世界の諸地域</p> <p>3 冷戦の終結とその後の世界</p> <p>4 アメリカ合衆国の復調とグローバル化</p>	<p>現代世界を形成する歴史の中で、人々がさまざまな課題に取り組んでいる様子を各所に提示しており、学習者の自主および自律の精神を養うとともに、勤労を重んじる態度を養うようにした(第2号)。</p>	<p>350 , 352 , 359 , 362 , 367 , 369 , 378 , 382 , 387ページなど</p>
<p>第22章 21世紀の地球的課題と人類社会</p> <p>1 グローバル化にともなう世界の変容</p> <p>2 地球的諸課題</p> <p>3 新たな秩序変容</p> <p>21世紀の地球的課題と世界史</p>	<p>人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p>	<p>全体</p>
	<p>さまざまな災害や国際紛争、地球環境の問題などについて取り上げ、生命を尊重する態度や、環境問題の解決に向けた姿勢を養うようにした(第4号)。</p>	<p>352 , 356 , 362 , 378 ~ 382 , 386 ~ 389ページなど</p>
	<p>グローバル化が進展する世界の中で日本の動向について積極的に取り上げ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与できる態度を養うことができるようにした(第5号)。</p>	<p>350 ~ 352 , 357 , 359 , 368 ~ 370 , 378~389ページなど</p>
	<p>グローバル化や情報化が急速に進展していく社会の中で手掛けられてきたさまざまな取り組みについて取り上げ、伝統や文化への理解を深めるとともに、他国の歴史や文化についてもこれを理解・尊重する態度を養えるようにした(第5号)。</p>	<p>352 ~ 354 , 359 , 362 , 367 , 369 , 378~389ページなど</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・コラム等を各所に設けるとともに、写真・地図・図表を豊富かつ大きく見やすく掲載することなどで、生徒が主体的・意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した。
- ・地図に独自の参照ページ番号を適宜付し、歴史地図の時系列的変遷を確認できるように配慮した。
- ・教科書の目次に掲載している二次元コードから、原典資料の解説や映像資料など、教科書の内容をより理解できるような教材を参照できるようにした。
- ・ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- ・地図やグラフなどではカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず学習を進められるよう留意した。
- ・再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-107	高等学校	地理歴史科	世界史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	世探 701	世界史探究		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容の充実

- 各節の冒頭に学習課題の事例を提示し、当該部分の学習内容でポイントとなる部分を明確にして学習を進められるようにした。
- 「深める」と題した学習課題を適宜提示し、主体的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。
- 「21世紀の地球的課題と世界史」では、主題を設定し、地図・表・文字史料などの多様な資料を活用して考察し、探究成果を文章でまとめて表現したり、意見を交換したりする活動を提示し、主体的・対話的な学習活動に取り組めるようにした。

2. 特別支援教育に関わる適切な配慮

- 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- 色覚特性がある生徒にも見分けやすいように、配色に配慮した。

3. 諸資料を活用する技能と歴史的思考力の育成

- 資料を読み取る際の視点を各所に提示し、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切に読み取る技能が身に付けられるようにした。
- 諸資料を読み取ったり比較したりすることで、歴史を複数の面から捉える思考力を養う特設ページを設定した。

4. 地理的条件や日本の歴史と関連付けた総合的な考察

- 第1編の各地域の冒頭部分には当該の地域の地勢図を、第1章冒頭には「世界の気候図」として気候帯を示す世界地図を掲載し、地理的条件と関連付けながら世界史の学習が展開できるようにした。
- 日本に関連するコラムを各所に設置したり、各章扉の年表に日本のできごとも含めたりすることで、世界の歴史の中における日本の位置付けを理解させ、日本の歴史と世界の歴史との関連付けを図った。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領 の内容	該当箇所	配当 時数
序章 ―― 世界史へのまなざし		7～14ページ	2
1 茶と世界史	内容 A-(2)		
2 地球と人類の誕生	内容 A-(1)		
第1編 諸地域の歴史的特質	内容 B	15～104ページ	22
諸地域の歴史的特質への問い	内容 B-(1)	16～21ページ	2
第1章 古代文明の出現	内容 B-(2)	22～34ページ	3
1 農業と気候			
2 古代オリエントとエーゲ海地域			
3 南アジアの古代文明			
4 東アジアにめばえた文明			

第2章 西アジアと地中海周辺 1 古代オリエントの統一 2 古代ギリシアとヘレニズム世界 3 ローマ帝国と地中海世界 4 古代末期の社会と地中海世界の解体 5 地中海世界とアジア 6 イスラーム世界の成立 7 中世初期の東西ヨーロッパ	内容 B-(3)	35～64ページ	8
第3章 南アジア 1 南アジアにおける国家形成 2 インド世界の形成	内容 B-(3)	65～72ページ	2
第4章 東南アジア 1 海の道の形成と東南アジア 2 東南アジア諸国家の再編成	内容 B-(3)	73～77ページ	1
第5章 東アジアと中央ユーラシア 1 古代帝国の誕生 2 中国の分裂と多様化 3 隋唐帝国と東アジア 4 草原地帯のトルコ化とイスラーム化	内容 B-(3)	78～99ページ	5
第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ 1 アフリカ 2 オセアニア 3 古アメリカ	内容 B-(2), (3)	100～104ページ	1
第2編 諸地域の交流と再編	内容 C	105～224ページ	34
諸地域の交流・再編への問い	内容 C-(1)	106～111ページ	2
第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 1 イスラーム世界の発展 2 イスラーム文明	内容 C-(2)	112～121ページ	2
第8章 中世ヨーロッパ 1 中世ヨーロッパ社会の展開 2 中世西ヨーロッパ社会の成熟 3 中世西ヨーロッパの文化 4 中世ヨーロッパ社会の再編 5 ルネサンス	内容 C-(2)	122～144ページ	7
第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 1 唐の崩壊後の東アジア 2 宋代の新展開 3 モンゴル帝国 4 元の成立	内容 C-(2)	145～159ページ	4
第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 1 イスラームのインドとインド洋海域への浸透 2 海と陸の結合 —— 東南アジア世界の発展	内容 C-(2)	160～166ページ	2
第11章 大交易時代と世界の一体化 1 アジア交易圏の再編と活況 2 ポルトガルのアジア進出 3 明と日本・朝鮮の動向 4 一体化に向かう世界 5 大交易時代の世界	内容 C-(2)	167～185ページ	6
第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 1 中央アジアと西アジアの繁栄 2 インドの大国 —— ムガル帝国 3 清と東アジア	内容 C-(3)	186～201ページ	4
第13章 主権国家体制の形成と 地球規模での交易の拡大 1 主権国家群の形成と宗教改革 2 オランダの繁栄と英仏の国家形成 3 商業覇権と植民地建設 4 啓蒙専制国家の発展 5 近世ヨーロッパの社会と文化	内容 C-(3)	202～224ページ	7

第3編 一体化していく世界	内容 D	225～348ページ	34
一体化していく世界への問い	内容 D-(1)	226～231ページ	2
第14章 国民国家と近代社会の形成	内容 D-(2)	232～258ページ	8
1 産業革命と工業化			
2 アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立			
3 フランス革命とウィーン体制			
4 自由主義の台頭と新しい革命の波			
5 19世紀後半のヨーロッパ諸国			
6 南北アメリカの発展			
第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容	内容 D-(2)	259～271ページ	4
1 産業資本主義の世界への波及と欧米社会			
2 西アジアの危機と改革のはじまり			
3 南アジア・東南アジアの植民地化			
4 清における開発の限界と二つのアヘン戦争			
第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	内容 D-(3)	272～297ページ	6
1 列強の覇権争い			
2 西アジア・中央アジアの変革			
3 南アジア・東南アジアの民族運動			
4 清の体制転換と近代国家建設の模索			
第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	内容 D-(3)	298～317ページ	5
1 第一次世界大戦			
2 ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編			
3 大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ			
4 アジア・アフリカでの国家形成の動き			
第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	内容 D-(4)	318～336ページ	5
1 世界恐慌と政治経済の変容			
2 国際協調体制の動揺			
3 第二次世界大戦の開戦と展開			
4 戦後秩序構想と冷戦の形成			
第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	内容 D-(4)	337～348ページ	4
1 アジア・太平洋戦争と日本の敗戦			
2 帝国の解体と分断国家の形成			
3 アジア諸国の独立と脱植民地化			
4 朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」			
第4編 グローバル化と地球的課題	内容 E	349～385ページ	10
第20章 冷戦の世界化と国際制度	内容 E-(1) (2) (3)	350～362ページ	4
1 冷戦と政治・経済秩序			
2 アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力			
3 平和共存と社会主義圏の多極化			
第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	内容 E-(1) (2) (3)	363～377ページ	4
1 アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容			
2 冷戦の変容と世界の諸地域			
3 冷戦の終結とその後の世界			
4 アメリカ合衆国の復調とグローバル化			
第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	内容 E-(1) (2) (3)	378～385ページ	2
1 グローバル化にともなう世界の変容			
2 地球的諸課題			
3 新たな秩序変容			
21世紀の地球的課題と世界史	内容 E-(4)	386～389ページ	3
		計	105